

Kait eletter

Vol. 1
No. 2
2015.9.30

神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科 情報誌

電気電子ユニット入門発表会

平成27年7月20日、1年生のゼミ科目「電気電子ユニット入門」の発表会が開催されました。大学生になって初めの発表会、まだ慣れない様子でしたが、これから立派に成長してゆくことでしょう。



大学院総合プロジェクト中間発表会

平成27年7月30日に大学院1年生科目「総合プロジェクト」の中間発表会が開催されました。半年間の調査・実験など、各プロジェクトの内容について、報告がありました。



全学年懇親会「縦コン」開催

5月11日、電気電子情報工学科の全学年懇親会「縦コン」(1年生から大学院生までが参加する懇親会)が講義棟2階第一食堂で開催されました。新しいスタートを切った新入生も入学から一段落し、ようやく学生生活に慣れてくる一方、緊張感も薄れてきてしまうこの時期に、本学科では例年行っています。軽食と飲み物を用意して、教職員や関連企業の方々から頂いた賞品を全員で争奪するゲームを行い、大いに盛り上がりました。小宮学長からご提供いただいた図書券を勝ち取った学生は、有効に利用してくれたことと思います。



4年生が学会でYPC奨励賞を受賞しました

平成27年8月25～27日に名城大学において開催された平成27年電気学会電力・エネルギー部門大会で、電気電子情報工学科4年生の山口拓馬さんがポスター発表を行い、YPC(ヤング・ポスター・コンペティション)奨励賞を受賞しました。

■発表論文

燃料電池の最大効率点検出方法の検討

山口さんは「板子一隆教授や友人の助力により、今回YPC奨励賞をいただくことができました。興味のある研究ができ、尚且つその成果が認められたことは大変嬉しく思います。今後もより一層研究を良いものにすべく取り組んでいきたいです。」と感想を述べました。



 **神奈川工科大学**
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

発行：神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科
〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030番地



神奈川工科大学
電気電子情報工学科

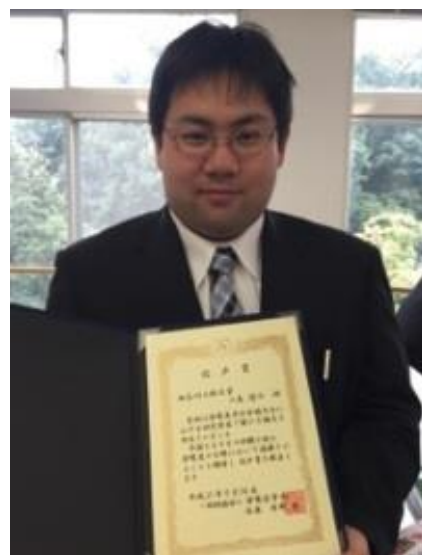


@kait_ele2014

大学院生が静電気学会から栄戸賞を受賞

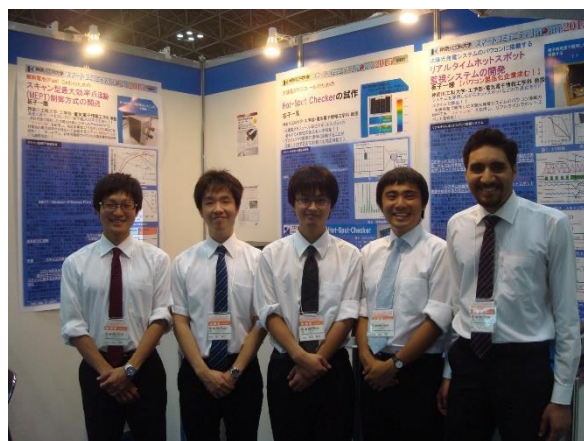
大学院工学研究科電気電子工学専攻博士前期課程2年の二見悠介さんが、第39回静電気学会全国大会において、「電荷を持った水滴落下時の表面帯電（第二報）」を発表し、栄戸賞を受賞しました。

受賞した二見悠介さんは、「この度は、栄戸賞を受賞し、とてもうれしく思っております。この論文を評価してくださったというのは、とても励みになります。これをもとにより一層精進し、これからもこの現象のさらなる解明を進めていきたいと思っております。講演時に時間を割いて聞いてくださった方、研究室の友人の方々、そして何より私のことを熱心に指導してくださいました指導教員の下川博文教授にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。」と感想を述べました。また、下川教授は、「今回受賞した栄戸賞は、若手研究者の優れた発表に対して贈られるものです。二見悠介君の研究は、最近注目を浴びている超撥水表面の帯電現象の解明を目指したものです。超撥水面の新たな可能性を明らかにした発表で、注目を浴びています。」と話しました。



スマートコミュニティJAPAN2015に展示

6月17日から19日の3日間東京ビッグサイト(東京・有明)で開催された「スマートコミュニティJapan 2015」に電気電子情報工学科板子研究室が展示を行いました。板子研究室の展示ブースでは、太陽光発電システム関連業界で今後、特に重要となるO&M (Operation and Maintenance) に関する最新の研究成果を中心に発表を行いました。太陽光発電システムを運用しながらホットスポット現象などの異常を監視するシステムを大学院生のバハシュ・ホサムさん、来年度本学大学院に進学予定の学部4年生の落合将喬さんと飯塚直明さんがその成果を発表。また、4年生の柳沢拓己さんはエポックサイエンス(株)と製品化を目指して共同開発した太陽電池パネルの欠陥の有無をチェックする装置「Hot-Spot-Checker」の発表を行いました。その他、4年生の山口拓馬さんは次世代型ハイブリッド自動車のFCV(燃料電池自動車)への適用を狙った高効率FC発電システムの新技術についての研究成果の発表を行うなど活躍しました。



小学生向け「科学実験教室」を開催

本学科の3年生から大学院生の計28名が、8月21日に富士電機株式会社(東京都日野市)が主催する地域貢献活動「2015富士電機コミュニティーフェスティバル」に参加しました。本学がこのフェスティバルに参加するのは今年で6回目で、延べ400名以上の未就学児及び小学校低学年生からその保護者に科学実験を体験してもらいました。テーマは「万華鏡」、「スライム」、「キーホルダー」、「釣りゲーム」、「Ooho」、「チューブプレーン」、「ゾート ロープ」などの工作や「ミュージックベル」、「ガウス加速器」などのゲームの他、「自転車発電機」、「振動発電」、「リニアモータ」などの実験で、全て学生達が科学を題材に作り上げたものばかりです。学生達は、自分で作ったものが子ども達(ユーザー)にきびしく評価されるという、大学の研究ではなかなか味わえない良い経験をしたようでした。

学生による最近の学会発表

1. Toyozumi, European Aerosol Conference 2015
2. Miura, European Aerosol Conference 2015
3. Oku, European Aerosol Conference 2015
4. Nakada, European Aerosol Conference 2015
5. Sakuma, European Aerosol Conference 2015
6. 海野他, 平成27年電気学会基礎・材料・共通部門大会
7. 小林他, 平成27年電気学会基礎・材料・共通部門大会
8. Abe, CIE session 2015,
9. 長谷川他, 平成27年度照明学会全国大会
10. 小林他, 第34回日本医用画像工学会大会,
11. 安倍他, 第34回日本医用画像工学会大会
12. 清藤他, 電子情報通信学会ソサイエティ大会
13. 榊原他, 電子情報通信学会ソサイエティ大会
14. Saito, ASME2015
15. 二見他, 2015年度静電気学会全国大会
16. 知久他, 2015年度静電気学会全国大会

